

調理 前田登三子

昭和六十二年の八月に、多くの方のお世話であかつき勤務となり、当時は、まだ休みが一ヶ月に四日の時代でしたので、毎日が忙しく追われていたのを思い出します。本当に長い間働くことができたのも、あかつきの皆様のおかげがあったからだと思いい、心から感謝しています。

あかつきも様変わりしたと思います。

自然豊かな所で働けることも幸せに思います。

長年に渡り、指導してくださった野津さん、本当にありがとうございます。

吉田施設長の下、これからも利用者様が安心、安全に暮らせるホームに、職員の方も各分野で頑張りましょう。

調理 花盛優子

私は、あかつきに勤めて十五年になります。

初めてあかつきの坂道を登った時、この先に本当に施設があるのかと、皆さん感じた事と思います。

自然の中にある施設は、自然の宝庫です。

わらび、ぜんまい、たけのこ、みかん、柿、栗などを餌としてやって来る猪、鹿、猿、また、それらを捕る人たち。

全てに「いただきます」の言葉が付いて回っている事を気付かされました。

私にも「いただきます」という感謝の気持ちをたくさん貰えるように働きたいと思います。

健康な体と、働かせていただいている事に感謝します。

調理 森多津子

あかつきに勤務して十二年目になります。

地元に住んでいても、あかつきがあるとは知りませんでした。

でも、いろいろな方と出会い、いろいろな経験させてくださいています。

“木々の彩りを感じて 一期一会”

調理 土岐澄男

四季折々を感じ、出勤途中に野生の鹿や猪に遭遇し感動したり・・・

こんな素晴らしい自然の環境の中に建つあかつきで仕事をさせて頂き、日々感謝しております。

まだ二年に満たない私ですが、四十年という歴史を汚すことなく、今後も先輩方のご指導を得て精進したいと思います。

栄養士 藤岡由紀

平成六年より栄養士として入職し、この五月で十六年目を迎えました。

あかつきの歴史の一部を共有でき、感慨もひとしおです。

今回、投稿させていただくにあたり、十五年という月

日を振り返る良い機会となりました。

入職したての頃は、当然のことですが知識も経験も無く、一人職場で、仕事の内容について相談できる人もいなかったなので、いろいろな問題に、「これでいいのかな」と頭を悩ませながら仕事をしていました。

しかし、今日まであかつきで働くことができたのは、調理員を始めとする、いろいろな職種の職員とのコミュニケーションと、毎度の食事を楽しみにしている利用者からの「おいしかったよ」というひと言のおかげだと思っています。

栄養士の仕事内容も、食に関わる状況も大きく変わりました。

しかし、安全でおいしい食事を提供するために私が果たす役割は変わりません。

これからも色々なことに挑戦し、あかつきと共に成長を続けていけるよう、努力していきたいと思っています。